会　報

八乙女

No.146

令和８年10月23日発行

編集・発行

南山見地域づくり協議会

富山県南砺市川原崎15
南山見交流センター
TEL・FAX（0763）82−5176
mail:minamiyamami.kmn@gmail.com











第49回南山見地区八乙女体育祭
～まさかの逆転勝ちに　私たちが一番驚いています～

9月27日（日）

３組監督　谷田隆司

連覇を目指して臨んだ大会でしたが、最終競技を前に３位と苦戦し、正直なところ優勝は諦めかけていました。

ところが、最終種目の「玉入れ」で皆さんの温かい声援に後押しされ、奇跡的に同点に追いつくことができました。最終的に成績上位獲得数の判定で総合優勝と聞いた時は、まさか逆転できるとは思っておらず、私たちが一番驚き、恐縮しています。

今回の結果は、最後まで諦めずに楽しんでくれたチームの団結力と、何より大会を支えてくださった地域の皆さんのお陰です。ともに健闘し、素晴らしい時間を共有してくださった南山見地区の皆さんに心より感謝申し上げます。



優勝した３組の代表の方々



選手宣誓をする３組の武田 務さん

第49回 八乙女体育祭成績

種目＼組・色	1組 赤	3組 水色	4組 ピンク	5組 緑
町内名	院瀬見	谷 南山見新 志観寺	戸板 里領 川原崎	沖
缶積みレース	2	1	3	4
明日に向かってゴール	2	6	8	4
防災バケツリレー	1	4	3	2
でたとこ勝負	4	2	1	3
飛べ飛べ!スリッパ	1	2	4	3
玉入れ（1回目）	4	3	2	1
玉入れ（2回目）	3	4	1	2
合計得点	**17**	**22**	**22**	**19**
順　位	**4位**	**1位**	**2位**	**3位**

第49回 八乙女フェスティバル

8月15日(土)

～盛況に屋内開催～

実行委員長　冨田利通















今回は、台風が逆走する、お盆前からの異常な天候不順が抜けきらず、残念ながら体育館での開催となりました。

18時30分からの開会式後、児童クラブ代表の池田穂乃夏さんと武田彩楓さんによる交通安全宣言で幕開き。続いて、昨年に引き続きアコースティック・ギターデュオの「じゅんゆう」さんに、懐かしのフォークソングや人気のアニメ曲など、名曲の数々を演奏していただき、熱いステージとなりました。その後、八乙女セミナーの踊り部会や民踊教室の皆さんのリードで盆踊りが行われ、幼児・児童を交えた楽しい踊りの輪が広がり、最後にお楽しみ抽選会・贈呈式を行って、大いに盛り上がりました。

各種団体の皆さんには、模擬店で生ビールに各種つまみ、ジュース・お菓子、黒豆おこわ・笹もち等の販売、また、くじ引きや金魚すくいなどの催事を行っていただき、楽しく思い出に残る賑わいとなりました。来場者は幼児から高齢者までの総勢約140名。地区住民の笑顔と交流の輪が広がり深まる夕べとなりました。















体力づくり健康レクリエーション事業

立山カルデラ探訪！





1938年に完成した泥谷堰堤



安政の大災害で犠牲になった方々の薬師堂跡の供養塔



六九谷展望台から望む立山カルデラ



吊橋「天涯の橋」を渡る

７月23日（木）、空梅雨の夏空のもと、19名の参加を得て、２年ぶりの立山として「立山カルデラ探訪」を実施しました。

今年は立山の砂防工事（常願寺川）が国の直轄事業となってちょうど100年の節目の年。アルペンルートをたどる普段の立山登山では見られないカルデラの内側に分け入り、歩いて、自然の驚異や砂防工事の歴史、先人の苦労を確かめようと、立山カルデラ砂防博物館主催の特別体験見学会に参加したものです。

現在も崩落が続き砂防工事が行われる区域のため、国の許可を得、ヘルメットを着用します。「六九谷展望台」からカルデラの全貌を眺め、「立山温泉跡地」で昼食をとり、「噴泉」や「泥谷堰堤」「護天涯の碑」を見学。その後、急な坂を引き返し、有峰経由で16時前に博物館に戻りました。

お陰様で、好天に恵まれ、またカルデラ内の山道も乾いて歩きやすく、参加者全員で「もうひとつの立山」を堪能した一日となりました。



86℃のお湯が勢いよく噴き上がる湯川の「噴泉」



立山温泉旅館跡休憩小屋でひと時の昼食タイム



当時の賑わいが偲ばれる立山温泉跡



参加者の皆さん（立山カルデラ砂防博物館前）

参加者の声

『立山カルデラ探訪に参加して』

川原崎　直江　学

この度、思いもよらずこの体験学習会へのお誘いがあり、小学校６年生の立山登山以来、約半世紀の時を超えて立山へ行く機会を得ました。

今回は、安政の大災害で大規模な土砂崩れとなった立山カルデラの砂防堰堤を巡りました。当日の目的地は、かなり標高も高く涼しい気候を予想していましたが、「大暑」かつ天候にも恵まれ、行程は登り下りのかなりハードな所もあり、ちょっと厚手の長袖という選択ミスもあり汗だくになりました。

そんな中でも、六九谷展望台からの眺望はとても素晴らしく、いっときの涼を感じられ、改めて自然の偉大さに感動した良い思い出となりました。

令和9年度の「要望書」を提出しました

地域づくり協議会長　田中一昭

７月末、各町内より新たに提出していただいた次年度要望書等を地域づくり協議会井波連合会に提出し、継続分を含め「井波連合会要望書」に盛り込んでいただきました。

市長要望の際には、才川市議会議員、蓮沼市議会議員、川原市議会議員にも同行していただき、今年も強く後押ししていただきました。また、県や交通安全に関する要望に関しては、富山県砺波土木センター長、南砺警察署長にお願いに行きました。

本地区からの要望事項は以下のとおりです。

1 新規要望

①院瀬見町内会からの要望
- 院瀬見地内中江川の堤防陥没の復旧

②戸板町内会からの要望
- 空き家解消に向けた対策促進
- 集積場所への杉葉の月１回無料回収

③谷町内会からの要望
- 市道山見戸板線と高屋井口線の谷地内交差点付近道路の陥没調査と補修
- 市道高屋井口線と谷1号線に挟まれた三角の市有地の定期的な除草
- 戸板地区井波水道第三排水所敷地内の定期的な除草及び管理の徹底
- 五領島交差点南側の市道高屋井口線未着工歩道整備

④連代寺町内会からの要望
- 市道連代寺今里線と谷連代寺線をつなく道路のアスファルト張替

⑤志観寺町内会からの要望
- 市道志観寺山見線志観寺地内の路肩法面補修

⑥沖町内会からの要望
- 中江川（井波城端線～干谷川合流地点）、西大谷川（市道高屋井口線～南砺井波城端線）の堆積土砂の浚渫

2 継続要望

①道路及び路肩法面の要望
- 市道高屋井口線、院瀬見地内路肩法面補修
- 市道南砺井波城端線、院瀬見地内の歩道樹木適正管理
- 市道高屋井口線、西大谷川橋段差の修復
- 清玄寺地内池田勲宅前市道の路肩法面の改修
- 林道の適正な維持管理（道路脇の樹木伐採、側溝の清掃等）
- 主要地方道井波城端線の道路拡幅及び歩道整備
- 市道東城寺線オーバーレイ舗装補修

②鳥獣被害防止の要望
- イノシシ被害防止に関する地域連携による対応及び市助成金支給対象の拡大



③河川堆積土砂の浚渫及び水路改修
- 干谷川（院瀬見～沖）の堆積土砂の浚渫
- 院瀬見地内川原毛谷水路線形改良

屋敷林の枝粉砕機講習会

７月11日（土）、南山見交流センター駐車場内で、屋敷林の枝粉砕機講習会を開催し、20名が参加しました。第２弾は10月に行います。

「枝粉砕機」の利用促進のため開催していますが、粉砕機で枝をチップにすることで、バイオマスとしての活用の幅も広がります。



枝がみるみる粉砕されます

今年は、ボックスに波板を組み立てた簡便な方法も試験実施しました。屋敷林の剪定枝の片付けなどに活用してみてはいかがでしょうか。

(仮称)『地域の未来を話し合う』事業の実施に向けて

来年度の実施に向け、理事会では(仮称)『地域の未来を話し合う』事業の協議を進めています。

この事業は、地域づくり協議会が発足して７年を経過する中、地域コミュニティ維持・活性化のため、地域の未来をみんなで話し合い、新たな行動計画につなげようとするものです。

７月16日（木）の第２回理事会では、県から講師をお招きし、先進事例や事業の進め方等をお聞きしました。



県の「ワンチームとやま推進室」の説明を聞く

児童クラブ入会式/花壇作り/あんどん作り



交流センターの前に全員集合


お祝いの品を受け取る新１年生


真剣な眼差しでロウ引きをしました


きれいな花が咲きますように…

６月７日（日）、南山見交流センターで児童クラブの入会式を行いました。本年度は新たに４名の新１年生を迎え、33名で活動をスタートしました。

入会式では、児童クラブ田村会長の挨拶の後、新入会員が紹介され、大きな拍手のもと、地域づくり協議会田中会長から入会のお祝い品が手渡されると、少し緊張した様子で受け取っていました。

その後、低学年は体育館へ、高学年は外に出て花壇作りです。花と緑の銀行のグリーンキーパーの皆さんに植え方を教わり、綺麗な花が咲くように、プランターに１株ずつ丁寧に植えました。その後、体育館で下書きをした絵にロウを引き、にじみの少ない顔料で色付けし行灯を作りました。

みんな真剣にそして手際よく取り組んでおり、できあがった時の顔が輝いていました。


仕上げの色付けは丁寧に塗ります

楽しい！おもしろい！第1回モルック大会

スポーツ推進員Ｂ　谷田　郁

７月11日（土）、昨年まで続いたビーチボール大会に変わり、第１回南山見地区モルック大会を南山見体育館で開催しました。初めての大会でしたが、各町内から９チーム29名が参加。幅広い年代が集い競技しました。



点数が書かれたスキットル

モルックは、スキットル（点数が書かれた木ピン）を狙って、モルック（木棒）を投げ、倒れたスキットルの合計点数を競い合います。戦術次第では有利にゲーム展開ができ、近年全国的に人気となってきているレクリエーション競技です。

初めての大会開催となりましたが、ゲームが進むにつれ、あちこちで歓声が上がりました。


狙い定めてモルックを投げます

来年は、より多くの方に参加してもらい楽しんでいただける大会になるようスポーツ推進員としても頑張っていきたいと思います。

大会の結果は次のとおりです。

１位　スポーツ推進員Ｂ
２位　院瀬見Ａ
３位　スポーツ推進員Ａ




最初に投げ方やルールを教わりました


見事スキットルに命中！やったぁ～


たくさんの方に参加していただきました

夏休みだ！朝から元気!!
三世代交流ラジオ体操・ミニマラソンの集い

青少年育成市民会議
南山見単位会議長　武田秀和

７月25日（土）、朝６時から親子や地域の方々約50名が集まり、三世代交流ラジオ体操・ミニマラソンの集いを行いました。

規則正しい生活習慣を育むとともに、地域みんなで子どもたちを見守り育てていこうという意識の醸成を狙う南山見単位会議主催の伝統行事です。


全員一斉に　用意　ドン！

最初はミニマラソンからスタートです。パワー全開の子ども達は、合図と共に猛ダッシュ。南山見交流センターから山に向かい往復800ｍの道を激走。幸いケガ人もなく全員走りきることができました。


澄み渡る青空の下でラジオ体操

続いて６時30分からは、参加者全員でラジオ放送に合わせて元気に体操を行いました。

忠魂碑慰霊祭・井波招魂社慰霊祭

忠魂碑維持会

８月15日（土）、遺族の方々、来賓、役員31名が参列し、谷の浄教寺様のご厚意により、本年度も本堂内で高瀬真宏住職の読経で、69回目の慰霊祭を執り行いました。





南山見忠魂碑は、今から98年前の昭和３年に旧南山見小学校前に建立され、その後現在の場所に移転されたものです。この忠魂碑は、西南戦争以来の戦没者を旧南山見村全体で祀るために建立されました。戦地におもむかれ、自らの命をお国のためにと忠義を尽くされた方々のお陰で、私たちは今、こうして平和な暮らしをすることができるありがたさを改めて感じています。

また、忠魂碑慰霊祭終了後、井波招魂社でも慰霊祭が行われ、南山見から地域づくり協議会田中会長らが参列しました。

今年は、先の大戦の終戦から81年を迎えます。世界では今も戦争が続いているところもあります。悲惨な戦いが、一日も早く世の中から無くなることを願います。


参列者全員で黙とう



成壮年部環境美化活動②

成壮年部副会長　箭原秀樹






交流センター周辺の土砂上げ作業

８月９日（日）、南山見交流センター周辺とグラウンドの草刈り、除草剤散布、排水路の溝掃除をしました。

猛暑日の続く中、多くの会員の方々にご参加いただき、心から感謝いたします。

作業内容は、事前に打ち合わせをしていたこともあり、全体的にスムーズに行うことができ、全員一丸となって取り組んだ結果、大変成果のある活動になりました。

今後も地区の環境を守るため、継続的に活動を行ってまいりますので、成壮年部の活動に引き続きご理解とご協力を賜わりますようお願い申し上げます。

消防団消防操法大会

南砺市消防団南山見分団　森　達之

６月28日（日）、南砺市消防団操法大会が開催され、２年前の出場に続き今年も、南山見分団は小型ポンプの部で出場しました。

今回は特に、消火技術の継承を目標に、若手メンバーを中心にチームを編成しました。市の大会では、緊張からかミスも見られましたが、見事準優勝を飾り、７月25日（土）に開催される県大会への出場を決めました。

県大会に向けては、消防署員の熱心な指導に加え、地域の方々やOBからの温かい激励をいただき、入賞を目指しました。結果としてその目標には届きませんでしたが、練習期間中に発生した火災で、選手たちは訓練で培った消防技術を実戦で活かす貴重な経験も積むことができました。



大会を前に激励を受ける選手

この度の大会出場にあたり、ご支援いただいた分団員、地域の皆様、そして選手を支えてくださったご家族の皆様に心より感謝申し上げます。南山見分団は、今後も地域の消防力向上に一層精進してまいります。



南砺市操法大会にて





第77回富山県下消防団消防操法大会で勇壮な姿を見せる団員達

「玉ねぎ収穫祭」～カレー作りに挑戦～

八乙女サロン　長田 ひとみ

７月20日（月）、38名が参加し、八乙女サロンで「玉ねぎ収穫祭」を開催しました。

今回の収穫祭は、八乙女菜園で大切に育ててきて大きくなった玉ねぎをたっぷり使い、グループに分かれ味の違う様々なカレー作りに挑戦しました。

食材の量も種類も同じでしたが、作り方や水加減、隠し味の違いで４種類の絶品カレーに仕上がりました。各テーブルで作った全てのカレーを食べてみましたが、どれも甲乙付け難いおいしさでした。

参加された方々の中には「久しぶりにカレーを食べたわ」という声も聞くなど大変好評で、和やかな収穫祭となりました。



玉ねぎたっぷり　おいしいカレーに舌鼓

老人クラブ連合会環境美化活動

７月11日（土）、午前６時から恒例の交流センター周辺とグラウンド他の草刈りを実施しました。



この春から３単位クラブでの組織構成で新規スタートしていますが、少しでも地域貢献を図るべく、できる限りの事業継承に努めているところです。

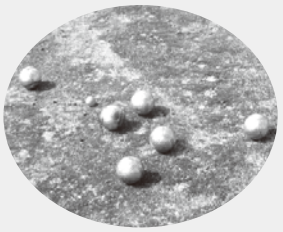
今回は、加盟している単位クラブ以外の町内老人会へも広く呼びかける形を取り実施しました。どれだけの方に当日参加いただけるか心配しましたが、心ある21名のご協力を得て、例年通り、すっきりとした環境を整えることができました。「やっぱり南山見だなぁ」と感じました。ご参集ご協力いただいた皆さんに改めて感謝申し上げます。ご苦労様でした。

また、９月19日（土）にも、「全国一斉社会奉仕の日」に合わせ環境美化に取り組みました。

クラブ・セミナー・教室紹介コーナー その8

ペタンク部会

山本久美



南山見ペタンク部会は、ペタンク競技の愛好会として発足し、井波ペタンク協会の一員として活動しています。ホームグラウンドは南山見交流センターグラウンドで、４コートが常設してあり、晴天ならいつでも練習可能です。

主な活動は、井波協会の月例大会、市ペタンク協会の５大大会へ参加などで、楽しく和気あいあいとプレーしています。最近、井波協会の月例大会では、福野協会のチームの方々と試合を行うなど交流の輪も広がっています。１チーム３人でプレーし、相手チームと得点を競い合い、通常は９点先取で試合終了です。





部会では、いつでも新規会員を募集しています。興味のある方は、男女年齢を問わず参加していただければ嬉しいです。

庄川の水瓶 ダムの貯水量底つく！

庄川水系の最上流にある御母衣ダムの貯水量が、８月21日に底をつきました。７月以降、ほとんど雨が降らず、ダム底に眠っていた村跡も出現するなど、65年前に運用開始してから初めての状態となりました。下流のダムの水位にも影響が出て、土改や水道事業者は８月上旬から取水量を2割減らすなどの対応もしていましたが、更なる取水制限の強化も検討されました。

小牧ダムから南砺用水に水を引くなど、その豊富な水の恩恵を常に受けてきた私たちにとって、庄川はまさしく命の水です。幸いその後の雨により現在は水量も回復しつつありますが、こんな身近にも地球温暖化の影響が出ているのかもしれません。



水不足で放水を止めている小牧ダム

シートベルト新米(しんまい)け!!

交通安全協会井波支部南山見分会



あんぜんうんてんしてください

９月29日(火)、旧農協機械センター駐車場において、交通安全協会井波支部南山見分会の方々が、秋の全国交通安全運動に合わせ「シートベルト新米(しんまい)け」キャンペーンを実施しました。

新米のコシヒカリ約40kgを小分けにして小袋に入れたものを、山野保育園の年長児６名が「キッズポリス」となり「安全運転してください」とドライバー一人一人に手渡していました。交通量の多い県道なので、安全のため警察官が車両を駐車場に誘導しました。

皆さんも、全ての座席におけるシートベルトの着用とチャイルドシートの使用で交通事故死ゼロを目指し、普段から交通ルールを守り安全運転に努めましょう。

新しい冷蔵庫が入りました



40年以上使用してきた調理室の冷蔵庫が新しくなりました。これは、昨年度末に解散した南山見女性部からの寄付金によるものです。ありがとうございました。

編集後記

今年の夏は気温40度超えの「酷暑日」が全国各地で記録され、エアコン無しではとても体がもたない状況でした。少し涼しくなったと思えば、今度は「線状降水帯」の集中豪雨で、県内でも被害が発生しました。地震に豪雨災害と、たて続けに被災された方々にお見舞い申し上げます。

先日、愛犬と散歩していると、西の空にすばらしい夕日が見られました。「明日はきっと良い天気」の予感。最近の天気予報はネットからいくらでも情報が得られる時代ですが「自分の目で見て感じられる情報は貴重だな」とつくづく思いました。私たちは自然の中で生かされていることを忘れないでいきたいですね。

(M・H)